

令和6年 11月 14日

城里町議会議員 金 長 秀 範

城里町議会全体（総務民生・教育産業常任委員会合同）視察研修報告書

研修先	有機物リサイクルセンター「美土里館」（栃木県茂木町） 道の駅たかねざわ元気あっぷむら（栃木県高根沢町）
日 程	令和6年11月13日（水）
参加者	議員12名、議会事務局3名、まちせん課長・町民課長・農業政策課長 合計18名
【内 容】	
1）美土里館の運営コンセプト・施設概要について	
2）道の駅たかねざわ元気あっぷむらの運営について	
【所感・課題等】	
1）・環境保全型農業の推進（畜産公害防止、牛ふん、もみがらの利用）・ごみのリサイクルの推進（生ごみの再利用によるごみ排出量の抑制）・森林保全の推進（間伐材・落ち葉の利用による里山保全）・農産物の地産地消体制の確立（町独自の認証制度によるブランド化）を事業目的に掲げ、計算され徹底した地域循環システム（有機物リサイクル）が確立。	
1）農家の健康維持管理や副収入確保にも繋がり、高品質堆肥や発酵攪拌処理プラントの設備施設により公害や廃棄物を外に出さない環境にやさしい運営がなされている。竹粉など乳酸菌を多く含まれているものも生成し、いちご農家に人気との事でアイデア商品も豊富◎	
2）「道の駅の登録によるそのブランドの活用」「既存温泉施設のリニューアル」「グランピング施設の新設」「多目的に使用できる屋外広場の設置」「それらを束ねて実施できる民間企業のノウハウ活用のための措定管理者選定」を行うなど、積極的な仕掛けで再整備しているが、紆余曲折を重ねまたブランディング通りの長期的な展開には至らずまた再募集の傾向。	
2）これまでの経緯や経過・様々な理由や説明を受けたが、令和7年4月以降の来場者や収支をみてみないと現段階では何とも言えないというのが率直な感想で、正直未知数かつ不安的要素が強い印象で終わった感は拭えない。成功事例を参考にして経営にあたるべき案件。	